

## 第38回階上町社会福祉大会 ～社会福祉に貢献 31名6団体を表彰～

11月25日、町民の皆様や福祉関係者の方々など約200名が一堂に会し、ハートフルプラザにおいて町社会福祉大会が開催されました。「熊本地震から学ぶこと」と題し、日本赤十字社青森県支部 事業推進課長 吉川靖之氏よりご講演をいただいた後、ボランティア推進校活動発表として、地域でのボランティア活動や福祉体験について、今年度は石鉢小学校と小舟渡小学校の児童から発表していただきました。

大会式典では、地域福祉活動の推進に長年ご尽力された社会福祉関係者、高額寄付者、高額物品寄付者、社会福祉作文入選者への表彰や、今年度の社会福祉作文で最優秀に選ばれた広瀬美優さん（大蛇小6年）と小森美咲さん（道仏中3年）の作文発表が行われました。

また、会場内では、障がい福祉サービス事業所ホープフルのぎく園利用者の作品展示即売と町母子寡婦福祉会による物品販売も行われました。

受賞、おめでとうございます。（敬称略・順不同）

### 名誉大会長伝達

#### ・青森県社会福祉大会長表彰

東山京子 岩谷悦子 西田和雄 坂本憲子  
 大谷久美子 森 一晃 田端眞智子

### 名誉大会長授与

#### ・民生委員児童委員永年勤続者

川浪秀一 山下和子 松川由香 佐々木 孝 十文字倉男

#### ・福祉団体役職員等永年勤続者

木戸ロヒデ（町母子寡婦福祉会役員） 内城光一（ほのほの交流協力員）  
 田中由紀子（ほのほの交流協力員） 竹本肥子（ほのほの交流協力員）

### 大会長授与

#### 《感謝の部》

#### ・高額寄付者（5万円以上寄付者）、高額物品寄付者

土橋美加佐 十文字倉男 大久保ミイ 田中武志 河内宏心  
 濱浦すみ子 階上町連合婦人会 階上町商工会 花美流舞会  
 階上町文化協会 ボランティアサークルけやき 有限会社太田技建

#### 《表彰の部》

#### ・平成28年度階上町社会福祉作文入選者

最優秀 広瀬美優（大蛇小6年） 小森美咲（道仏中3年）  
 優 秀 佐京花樹（小舟渡小6年） 荒道俊介（道仏中2年）  
 佳 作 柳沢夏光（階上小5年） 鈴木すみれ（赤保内小5年）  
 下平 凜（石鉢小6年） 高屋敷優晴（大蛇小6年）  
 伊藤勝士（小舟渡小6年） 三河朱里（階上中2年）



賞状を受ける山下和子さん



講師の吉川靖之氏



ボランティア推進校活動発表（石鉢小学校）



ボランティア推進校活動発表（小舟渡小学校）

### 平成28年度チャリティバザー寄付者（敬称略・順不同）

地区名	寄付者名
石 鉢	小山義雄、沼田令子、田端眞智子
蒼 前	小室行弘、赤木圭介、山内良子、鹿原チヨ、音喜多祝子、清川栄子、中村和子
野 場 中	上重一男、熊谷登、荒谷豊、佐藤昌澄、荒谷フミ、西塚ささ子、吉井ユキ、家口ナミ子
角 柄 折	松川純悦、松川金次郎、正部家子、松川ミチ、谷川満恵
金 山 沢	上勉、上正次、阿部勝広、畑中弘實、畑中良穂、畑中勇、堀畑誠一、伊藤昭一郎 杉本洋二、佐藤光一、小山宏道、柳沢忠男、戸久世武治、伊藤トシ、佐々木孝
田 代	内城君子、戸草内チヨ、水合千枝、山田ときえ
晴 山 沢	根岸志芳
平 内	大前典男、鳩恵子
鳥 屋 部	小沢勝、伊藤ツサ、木村ツセ、房間コト
赤 保 内	東山正、奥山キミ子、小山真喜子
耳ヶ吠西	田中真、花沢忠右エ門、十文字康洋、中城ちる、阿部栄子、大久保ミエ、渡部みどり 田中綾子、小松千恵子、河原木ユシノ、小松サチ、小野寺美代子
耳ヶ吠東	西田和雄、井沢一夫、飯干温信、藤谷保人、黒林正、山守哲也、吉内正、田中結 松崎光子、藤島貞子、田子節子、黒林光子、山田百子、若松リヨ、中城和子、留目慶子 大平眞理子、山崎ムツ
荒 谷	笹山一夫、荒谷憲輝、木村キミ、荒谷恵子
大 蛇	中田兼雄、中田久夫、中田研一、種市岩人、中田牧子、見附淑子、畑中優子、赤松みつ子
追 越	中島孝一、中島豊美、松橋竹子
榊	日向登美男、北城幸男、浜谷幸夫、浜谷義廣、上長根眞弓、久保和子、金子栄子
駅 前	南上義雄、守政美、澤雄三、南上邦子、橋場悦子、寅谷玲子、寅谷チエ、寅谷タミ、高清水栄子 竹本肥子、新井田トミ、下坪昭子、斎藤鈴子、松橋たつ、濱浦すみ子、佐藤オテフ
道 仏	木村正俊、桑木勝志、高山貞子
小 舟 渡	下野秀男、下野禮知子、東山京子、下館ミチエ、下野京子、岩城恵子、森由美子 佐藤紀美子、重文字春枝、藤田ティ子
町 外 団 体	川浪孝雄、信田ティ、森一晃 陶芸教室、栽培漁業センター

たくさんのご来場  
 ありがとうございます  
 ございました  
 ボランティアサークルけやき  
 主催のチャリティバザーが十月  
 二十九日、三十日の二日間、町  
 民文化祭に併催し開催されまし  
 たら。  
 町内外からお寄せいただいた  
 約一、六〇〇点の物品は、二日

間ともたくさんの方々にご来場  
 いただきほぼ完売となりました。  
 なお、売上金二二五、二六〇  
 円から必要経費を差し引いた全  
 額を社会福祉活動費として社協  
 へご寄付いただきました。  
 ご来場並びに物品寄付にご協  
 力いただきました皆様、誠にあ  
 りがとうございました。本紙上  
 をもってお礼にさせていただきます。



### あたたかいご寄付ありがとうございました

〇角柄折 河内 宏心 様 金 50,000円  
 〇青森県市町村職員年金者連盟  
 三八支部長 鈴木孝義 様 金 5,000円  
 〇ボランティアサークルけやき 様 金 225,666円  
 〇はまゆり保育園 様 アルミブルタブ70.3kg  
 〇小舟渡小学校 様 アルミブルタブ26.6kg



はまゆり保育園様

### 弁護士による 無料法律相談

【赤い羽根共同募金配分事業】

■日時 12月27日（火）  
 午後1時から午後3時（1人20分以内）  
 ■場所 ハートフルプラザ・はしかみ  
 ・相談は予約制（先着6名）です。

### 心配ごと相談

～心配ごとや悩みごとなどご相談ください～

■日時 毎週火曜日 午後1時から午後3時  
 ・第1、3火曜日以外は予約制です。  
 ■場所 ハートフルプラザ・はしかみ

予約受付 階上町社会福祉協議会 ☎88-3067

編集発行：社会福祉法人 階上町社会福祉協議会 住所：階上町大字道仏字天当平1-182 ハートフルプラザ・はしかみ内  
 ☎0178-88-3067 FAX 88-3069 E-mail: hashikami-shakyo@citrus.ocn.ne.jp ホームページ: http://www.shakyo.or.jp/hp/220/

この広報誌は、4,600部作成し、印刷経費は1部あたり20.66円です。（県共同募金会から配分を受けて発行しております。）



QRコード



## 社会福祉作文入選作品

第三十七回社会福祉作文に、今年度は四十八編の応募をいただき、審査会において十編の入選作品（最優秀二編、優秀二編、佳作六編）が決まりました。  
その中から最優秀の作品をご紹介します。

### 【最優秀】

「体が不自由な人にも優しく」  
大蛇小六年 広瀬 美優



私はこれまで、自分の生活に何の不自由さも感じずに暮らしてきました。この生活は私にとって当たり前で、もちろん日本社会でも当たり前のものなんだと思っていました。しかし、そうではないのだと気づかされました。例えば信号機。私たちは、青から赤に変わるまでに渡りきれないということがあります。それがふつうのことだと私は思っていました。しかし、それは「ふつう」ではないのだと気づかされた出来事

が夏休み中、二つありました。それは、世の中はまだ不自由で、みんなが安全に安心して暮らせる環境ではないということに気づかせてくれる出来事でした。

まず一つ目は、踏み切りでの出来事でした。私が踏み切りを渡るうとした時です。車いすの私と同じ年齢くらいの女の子が一人で、車いすの車輪を回しながら渡っていました。すると、その女の子の車いすの車輪が、線路のへこみにはまってしまうたのです。その子は、自力で車輪を持ち上げることができず、動けなくなっていました。その上、踏み切りがカンカン鳴り出し、遮断機も下り始めてきました。それを見た私は、すぐに助けに行こうとした時です。真っ先に、一人の女の子が踏み切りの中に入り、線路のへこみから車いすの車輪を外し、女の子の車いすを押して踏み切

りの外まで連れて行ってあげたのです。その女性はその子のお母さんでした。私は、この時、車いすの人は線路を渡る時も命がけなのだと思います。私にとっては踏み切りを渡ることなんて当たり前のことだけれど、体が不自由な人にとっては、一歩まちがえれば大事故になってしまうかもしれないと思いました。私はその女の子が助かってよかったなあと思いました。

二つ目の出来事は、私の母と車に乗っている時のことでした。私達の車は、横断歩道の手前で停まっていた。信号が赤になりました。すると、横断歩道を一人の車いすの人が渡ってきました。その人は一生懸命進んでいましたが、道路は四車線の広い道路だったので、歩行者用の信号の方が赤に変わっても、横断歩道を渡り切ることができませんでした。道路の真ん中を過ぎた辺りで車いすは止まってしまい、とうとう信号が青に変わってしまったのです。すると母は車を発進させず、その人が横断歩道を渡り切るまで、ずっと停車して待っていました。

私たちの後ろにいる車は理由が分からなかったこともあり、クラクションを何度も鳴らし、「早く発進しろ！」と言わんばかりです。しかし、母は全く動じることはありませんでした。そして、車いすの人が渡り切ってから静かに発進したのでした。私は母の行動を見て、私も身体が不自由な人に優しい人になりたいと思いました。

私がこれまで当たり前として生活していたことは、体が不自由な人にとっては当たり前ではないんだなあと、この二つの出来事で気づかされました。一番大切なことは、体が不自由な人が私たちと同じように暮らせるように、私たちは優しくしたり、困っている時は、すぐに手を差し伸べる行動をしたりすることが大切だと思いました。



### 【最優秀】

「笑顔の花」  
道仏中三年 小森 美咲



私は幼い頃から、高齢の方々と触れ合う機会をたくさんもっていました。十年経った今でも、目を閉じれば鮮明に蘇ってくる思い出があります。

あれは、私が五歳くらいの時だったと思います。母が働いている介護施設で、小さい子の踊りを披露しようというものでした。児童館の同級生は、私を含め五人しかいませんでしたが、それでも一生懸命に練習して遂に本番を迎えました。子どもが無邪気に踊る自由なダンスでしたが、見てくださったお年寄りの皆さんは、優しい笑顔で拍手してくださいました。そして、口々に「めんこいなあ」などの声をかけてくださいました。その時はまだ、お年寄りといっても、自分の祖

父母と近所のおじいさん、おばあさんしか知りませんでした。沢山の笑顔をもらったことが嬉しくて、私は飛び上がりたような気持ちで帰ったのを覚えています。私の母は、ずっと介護福祉の仕事が続けています。母が勤めているのは、サービス付き高齢者向け住宅です。その施設へは青森県内外からの入居が可能で、北海道から入居されている方もいるそうです。空き室が出ると、次の方が一週間待たずに入居するほど、入居希望者が多い現状。ほとんどの方は車椅子生活になると在宅介護が難しくなる施設入所を検討し始めるということです。家族がみてあげたくてもできない現実が、大きく立ち回っていました。そして感じました。

現在、施設に入居されている最高齢の方は九十七歳です。車椅子で生活しているそのおばあちゃんは、車椅子で自走するほどお元気で、自分でご飯を食べ、大好きな歌を毎日歌っているそうです。歌声が聞こえない日があると、他の入居者の方がすぐに心配するくら

らい皆から愛されているおばあちゃん。特技は、若い頃にやっていたバスケットボールで、九十七歳の今でも正確なパスは健在とのこと、私はびっくりしました。

立てないのに立ち上がり行動をしよう今のおばあちゃんには、常に付き添いが必要ですが、たとえ高齢になっても、その人が生きる力を与えるのは、ずっと大好きだったことや周りの人の笑顔なのだと思います。それは、元氣な高齢者の方だけではなく、どの方にとっても同じなのではないでしょうか。

母から話を聞いて、私は改めて日本の高齢社会について考えるようになりました。年々増えていく日本の高齢者の割合と、それになかなか追いつくことのできない介護福祉現場の現状。六十五歳以上の高齢者の割合は、平成二十四年時点で三十七万四千四百人。これは日本の総人口の約四分の一にもなっています。他国と比較しても日本の高齢化率の増加は非常に高く、それが今後さらに現役世代の重い負担となるのです。少ない

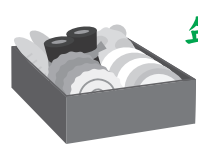
人数で多くの高齢者の方を支えていかなければならないことなど、私たちはまだまだ日本の未来について学ばなければならぬと思います。

また、最近では、高齢者の「孤独死」の問題も多くニュースに取り上げられています。都会のみならず、県内でも、このような孤独死という形で亡くなる方がいらつしやると聞き、悲しく、残念なことに思います。地域の中で、日頃から交流や見守りの目があれば、孤独死のような最悪の形は避けられるのではないのでしょうか。

どんどん進む日本の高齢化の波の中で、今私たちができることは、できるだけ地域の高齢者の方々とふれあう機会をもつことだと私は考えます。どんな小さな交流でも、笑顔の花を積み重ねていけば、いつかきっと大きな笑顔の花になります。これからの私は、幼い頃と同じに、小さな笑顔の花を咲かすことができるよう、積極的に行動していきたいです。

## 年末年越し給食サービスをご利用しませんか

～おせち料理をお届けいたします～



社協では、下記のとおり年末年越し給食サービスを実施します。利用ご希望の方は社協までご連絡ください。

- 期 日 平成28年12月31日（土）
  - 配達時間 午後1時～3時
  - 利 用 料 無料
  - 対 象 者 町内在住で75歳以上のひとり暮らし高齢者  
・平成28年12月31日までに75歳に達する方  
・大晦日をご家族、ご親戚等と過ごされる方は除きます。
  - 申込方法 氏名、住所、年齢、電話番号を 12月19日（月）までに社会福祉協議会まで電話でお申し込みください。
  - 申 込 先 階上町社会福祉協議会 電話88-3067
- ※年末年越し給食サービスは、赤い羽根共同募金の配分を受けて実施します。

## 配達ボランティアを募集します

社協で実施する年末年越し給食サービスに関わる、配達（運転）ボランティアを下記のとおり募集いたします。

- 期 日 平成28年12月31日（土）
- 活動時間 午後1時～3時（集合時間12時20分）
- 集合場所 ハートフルプラザ・はしかみ
- 内 容 75歳以上のひとり暮らし高齢者のお宅へおせち料理の配達  
・配達は自家用車となります。  
階上町内5件～10件程度
- 配達範囲 5名程度
- 募集人数 12月19日（月）
- 申込期限 車両燃料は自己負担となります。
- そ の 他 ボランティア活動保険は本会で加入いたします。
- 申 込 先 階上町社会福祉協議会 電話88-3067